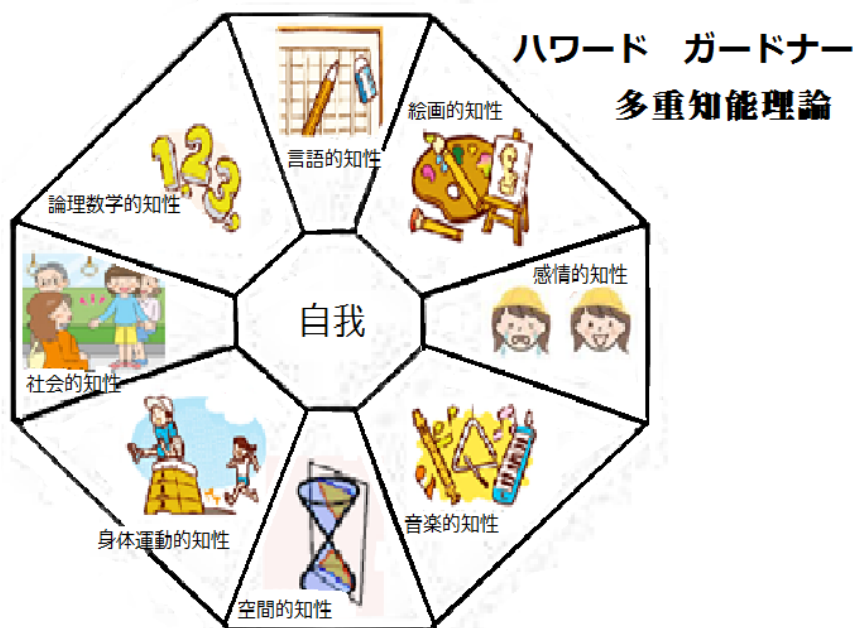


個性を生かす多重知能理論

以下の「八つの多重知能理論」は、ハワード・ガードナーの教育理論だ。知能の多重性を意識することが、子どもと向き合う上で欠くことが出来ない。 ハワードガードナーによれば、人の知能は、以下の八つに分類されそうである。



- 言語的知能** 読むこと話すこと聞くことにより養われる知性
- 絵画的知能** お絵描きなどによる養われる知性
- 空間的知能** 立体的モノづくりや立体を使った遊びで養われる知性
- 論理数学的知能** 計算や論理的思考などにより養われる知性。
- 音楽的知能** 歌うこと演奏することなどにより養われる知性。
- 身体運動的知能** 体を動かすことにより養われる知性で
「知」「徳」「体」の「体」に対応
- 社会的知能** 団体スポーツや共同学習や他者との遊びなどで養われる知性。
「知」「徳」「体」の「徳」に対応
- 感情的知能** 他者との交流の中で育まれる知性。
感情のコントロール「EQ」に対応

これらの知能に加えて、これらの八つの知能をコントロールする知能、「超知能」としての「自我」があるそうだ。この自我は、理性・主体性・独創性・創造性に関して中心的な役割を持つとある。